

◎**会員以外の方もご参加いただけます。**

ご興味のある方は、下記申込書にご記入の上、岐阜県中小企業家同友会 事務局までメールまたはFAXでお申込み下さい。

参加申込書

企業名 _____

申込日 年 月 日

申込者 _____

氏名	役職	基調講演 13:00～	参加希望分科会 15:15～	懇親パーティー 19:15～
		出・欠	第 分科会	出・欠
		出・欠	第 分科会	出・欠
		出・欠	第 分科会	出・欠

参加費 10,000円 ※都合によりパーティーに参加できない方は5,000円

参加費支払方法にチェックを入れて下さい

- 自動振替 (振替手数料が 150 円かかります)
- 振込《振込銀行》口座名はどちらも…岐阜県中小企業家同友会
- 十六銀行あかなべ支店 普通預金 No.201050
 - 大垣共立銀行本店 普通預金 No.151898
 - 岐阜信用金庫茜部支店 普通預金 No.71829
 - 大垣信用金庫岐阜支店 普通預金 No.278427
- 当日現金支払

上記に必要事項をご記入の上、ファックスまたはE-Mailにて下記同友会事務局までお送り下さい。
又は、岐阜同友会 HP、e.doyu から申込可能です。

※10月16日(金)以降のキャンセルは、参加費を全額ご負担いただきますのでご了承下さい。
(本登録内容は、行事設営のために同友会事務局管理のもとに、参加者名簿などに活用されます。)

交通のご案内



JR岐阜駅・名鉄岐阜駅から

- ◎岐阜バス「市内ループ線」で
長良川国際会議場北口下車(徒歩2分)
- ◎岐阜バス「三田洞線K50・K51・K55」で
長良川国際会議場前下車(徒歩2分)
バスの場合はいずれも所要時間 約20分
タクシー利用の場合は所要時間 約10分～15分

車の場合

- ◎名神高速岐阜羽島ICから
岐阜環状線経由で 約40分
- ◎名神高速一宮ICから
国道22号を北進し、岐阜市街経由で 約50分
- ◎東海北陸自動車道岐阜各務原ICから
国道21号を西進し、岐阜市街経由で 約40分

自信を持ってミライにつなげよう

同友会を再発見

岐阜を再発見、

自社を再発見、

第28回 岐阜県中小企業経営フォーラム

2015年 **10月20日** 火

岐阜都ホテル
岐阜市長良福光2695-2
TEL (058) 295-3100

- 当日のスケジュール / 12:30～受付 13:00～基調講演 15:15～分科会 19:15～懇親パーティー
- 参加費 / 10,000円 (懇親会に参加しない場合5,000円)

基調講演

伝統の心と技術を大切に受け継ぎ、顧客志向の物づくりを追求する本物家具メーカーを目指す

講師プロフィール

昭和18年高山市生まれ。昭和43年立命館大学卒業後、家業の(資)富士屋に入社。昭和44年9月から同社代表取締役社長。昭和62年12月、飛騨産業(株)の非常勤監査役、平成7年1月から(株)パローの代表取締役副社長に就任(平成11年6月、(株)パロー退任)。同年、飛騨高山ティディバエコビレッジの共同経営を始める。平成12年12月、飛騨産業(株)の代表取締役社長就任。

同社は、地元の国産材を有効利用したモノづくりに取り組み、平成17年、杉圧縮技術とイタリア人デザイナーとのコラボレーションによる世界初の圧縮スギ家具、「HIDA」ブランドを発表。また技術を大切にモノづくりでは、技能検定試験合格者、技能オリンピックや技能グランプリ出場者を多数輩出。一流の職人を育てるための「飛騨職人学舎」を設立、「現代の名工」に選ばれた社員もみえます。

- 設立:1920年(大正9年)8月
- 資本金:3億円
- 社員数:422名(パート含む)
- 売上高:54億円(平成26年9月期)
- 事業内容:家具インテリア用品の製造・販売、自然エネルギーによる発電事業、林業・製材業



講師 飛騨産業(株) 代表取締役社長 岡田 贊三氏

私たちの今の立ち位置はどこだろう、地域とはどう関わり、同友会では何を学びますか。その為に誰と会いますか。なにをしてミライに繋がりますか。日々の活動の中でふと気に留める疑問や課題に対する回答を求める為に、その感性を高める為に、今年のフォーラム分科会のテーマは5つです。

あなたの事や社員の事、市場の事や差別化の事そして地域との事と、あなたの関心事項はいかがだろうか。早く終わった時間の流れを少し通してもう一度みてみる、考えてみる。あなたやあなたの会社の良い所は沢山あるのではないだろうか。沢山の良い所を認識して繋げてみるとそれは大きな自信になると思う。いつの時も厳しい状況の中でこうして進もうとすることはきっと良く、きっと凄いのだ。

自信をもとうよ。ミライはこの先にあるよ。

岐阜産研工業(株) 林 敬一郎

実行委員長 挨拶



タイムスケジュール

12:30	受付開始
13:00	開会 基調講演
15:15	分科会 分科会報告 グループ討論・発表 質疑応答・まとめ
19:15	懇親パーティー
21:00	閉会

第1分科会
経営者の姿勢・覚悟



(有)アサギリ 代表取締役 養 威頼氏 (静岡同友会 副代表理事)

- 創業(設立):1965年
- 資本金:1,000万円
- 事業内容:産業廃棄物処分、産業廃棄物収集運搬、肥料製造業
- 売上高:3.2億円
- 社員数:22名 (うちパート、アルバイト2名)
- <http://asagiri.info>

『幾多の苦難を乗り越えたのは、経営者の姿勢と決意』
～社員・地域住民と真剣に向き合い、皆の心境に変化が～

サラリーマン生活を経て、家族経営の南朝霧牧場へ入社。社長の父は、「お前達に任せた」の一言で長男である兄と三男である養氏の二人で事業に精を出す。突然、兄が事故で2年間の入院。2名の社員を採用し何とか苦難を乗り切る。入社から5年、父から「会社はお前が継げ」と言われ社長に就任。しかし、経営者は思ったより厳しく、社員とは毎日のように口論、また地域住民からの苦情、社員の労災事故。そんな苦難の連続だったが、逃げずに正面から立ち向かう姿勢と自らの決意で乗り切り、今では、社員も15名に増え、また救済合併で子会社も設立し業績を伸ばし続けている。その背景には、同友会からの学びだと養社長は語る。

第2分科会
人材育成・社員のやる気



株 岩田製作所 代表取締役 岩田 修造氏 (岐阜南支部)

- 創業:1964年
- 設立:1966年
- 資本金:9,912万円
- 事業内容:一般産業機械用構成部品の開発・製造
- 売上高:18億円
- 社員数:99名
- <http://www.iwata-fa.jp/>

「社員一番」を貫く経営

創業以来、厳しい局面を乗り越えてこれたのは「社内の対話力」があったからこそ。ところがその「対話力」をデジタル機器が侵食し始めた。このままでは、「一番大事なのは社員」という社の基本方針をも脅かすことになる。大きな危機感を持った岩田社長の打った手は…

この会社の「社員一番」は決してゆるがない。考える能力、雑談する能力を身につけた高い人間力を持った社員をめざすべく、その時々「現状」を正しく認識し、打てる手を考え、一つずつ地道にやってきた岩田製作所は、10年前とどう変わったか? あなたの会社は10年前と比べてどうですか? 厳しく冷静な目で自身・自社を振り返り、明日につなげるのがこの分科会です。

第3分科会
市場創造・企業連携



株 鳥越樹脂工業 代表取締役 鳥越 豊氏 (愛知同友会)

- 創業(設立):1984年(1988年)
- 資本金:1,500万円
- 事業内容:自動車用樹脂部品の設計・製作及び試作、健康美容器具、電子部品、航空機部品などのデザイン設計製作
- 売上高:18億円
- 社員数:正規70名 パート40名
- <http://www.torigoejyushi.co.jp>

生き残りをかけた新市場への挑戦
～新市場創造が本業を強くする～

起業から約10年目に売上9割減の危機に立った鳥越氏は、「一社依存、一業種依存からの脱却」をし、モノづくりプロデュース業としてブランド力を高めることを決意。ひたすら自社のコアとなる技術・素材の発展性を追及する中で新たな市場創造ができてきたという現在は、自動車部品から健康・美容・器具、電子・航空機部品と幅広く展開しています。「タテの経営で100年企業を目指す」と熱く語る鳥越氏は、その経験を生かそうと昨年、愛知同友会に企業連携を通じて仕事づくりを目指す「AICL(アィクル)」を立ち上げています。この分科会では、自社の「強み」を知るためにすべきことをトコト議論します。

第4分科会
ブランディング・差別化



(株) 榎谷 代表取締役社長 榎谷 祐哉氏 (西濃南支部)

- 創業:1755年
- 資本金:5,000万円
- 販売店:直営店舗7店舗 テナント5店舗
- 事業内容:銘菓菓子・和洋菓子 製造販売・喫茶
- 売上高:11億円
- 社員数:180名(パート、アルバイト含む)
- <http://www.kakiyokan.com>

企業のブランド化!!
～小さな感動提案の積み重ねが企業のブランド力を作る～

今年創業260年のお菓子の榎谷。その老舗9代目として、報告者の榎谷社長は、伝統を守る一方、その時代のニーズに応え、常に新しい商品を次々に送り出しています。榎谷氏は言います「何回お客様ごの期待に応えたかで、ブランド力がつくと思う」と。そしてご自分の役割は、オーケストラの指揮者。社員1人1人の得意分野ですばらしい音楽を奏でてもらい、榎谷という音楽をお客様にお届けする。そこには常に「驚き」「信頼」「感動」を感じていただく為という思いが込められています。そして、常に半歩先を歩いていって、お客様の期待に応えていきたいという思い。300年続くブランド力を。そんなご報告をしていただきます。

第5分科会
地域づくりと中小企業経営



株 藤原電子工業 代表取締役 藤原 義春氏 (大阪同友会 副代表理事)

- 創業(設立):1993年
- 資本金:3,800万円
- 事業内容:プリント基板のプレス加工・金型製作・電気機械器具製造
- 売上高:3億円
- 社員数:25名
- <http://fdk-ltd.jp/>

住みたい街づくり、働きたい会社づくり

大阪府八尾市では、2001年に中小企業地域経済振興基本条例が制定されましたが、それから10年経ち、条例を知らない、検証していないといった課題が発生。当時、産業振興会議の委員になった藤原氏は、企業や社員が「この街に住みたい」という気持ちが大切と考え、条例の前文にこの理念を盛り込み、自覚的自立的な企業の育成、事業継承する人材の育成、市主催の勉強会開催へとつなげました。また社内では、条例制定と同時に新設された「八尾サポートセンター」や同友会の異業種交流活動に積極的に参加。業界の海外生産が増加する危機感から、SAF金型(ワリ、ホコリ無し金型)の開発やプリント基板とロボット製造を組み合わせた新しい仕事づくりに挑戦しています。